

神奈川北央医療生協

東日本大震災救援関係通信

2011. 4/20 NO. 2 医療生協本部発行

大震災救援募金、各地から続々と 4/16現在、郵便振込だけでも66万円を突破！

◆東日本大震災の被災者救援募金の呼びかけに対し、「少しでも被災者の方々のために使ってほしい・・・」「ほんの少しだけど、何かの役に立ててください」など、病院や診療所窓口に設置した箱に募金される患者さんたち。各地域の支部や班会議などを通じても、たくさんの募金が寄せられています。また、医療生協の機関紙『北央医療』に折り込まれた郵便振込用紙からもたくさんの方々からの救援募金が本部に寄せられており、先週(4/16)の段階でも、171名の方々から666,505円もの募金が振り込まれています。今後とも皆様方からの善意を、隨時、日本医療福祉生協連などを通じて現地に届くよう、送金していきたいと思います。すでに日本医療福祉生協連には8,100万円超の募金が寄せられており、今週前半に岩手、宮城、福島の各自治体(県、市町村)に見舞金として5,500万円をお渡ししています。全日本民医連には1億9,400万円、神奈川民医連だけでも1,100万円以上の募金が集まっています。支援は一時的でなく持続的なものが求められています。引き続きの募金運動を続けていきましょう。

余震が続く中、現地職員は頑張ってるが、大変な状況だ…

被災地から帰ってきた中村さん(眼科検査課)は語る・・・



(一部周辺はガレキの片づけがされつつあるが、範囲は膨大 4/10撮影)

◆4/10、被災地の宮城県塩釜市まで車を運転して薬剤師を送り戻ってきた病院眼科検査課の中村さんは、「現地は大きな余震も続いて頻繁に停電も起っていた。(その中で)現地の職員は気丈に頑張っているが、やはり疲弊していると思う。大変な状況でした・・・。」と現地で奮闘している仲間を気遣っていました。

4/18までの募金総額 1,706,160 円